

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【公表番号】特表2012-513371(P2012-513371A)

【公表日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2011-543528(P2011-543528)

【国際特許分類】

C 0 3 B 19/06 (2006.01)

C 0 3 C 12/00 (2006.01)

C 0 3 C 10/00 (2006.01)

C 0 3 B 32/02 (2006.01)

【F I】

C 0 3 B 19/06 A

C 0 3 B 19/06 D

C 0 3 B 19/06 C

C 0 3 B 19/06 B

C 0 3 C 12/00

C 0 3 C 10/00

C 0 3 B 32/02

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月5日 (2012.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成形可能な物品であって、

第 1 の材料からなる第 1 の障壁と、前記第 1 の障壁内の内部空間とを含む第 1 の容器と

、

前記内部空間内に收容され、第 1 のガラス転移温度及び第 1 の結晶化開始温度を有する第 1 のガラスを含む、複数の第 1 のガラス粒子であって、前記複数の第 1 のガラス粒子は第 1 の成形温度で成形可能であり、前記第 1 のガラス転移温度と前記第 1 の結晶化開始温度との間の差異は、少なくとも約 5 ° K ( - 2 6 8 ) であり、前記第 1 のガラスは、少なくとも 2 つの金属酸化物、0 ~ 2 0 重量 % 未満の  $\text{SiO}_2$ 、0 ~ 2 0 重量 % 未満の  $\text{B}_2\text{O}_3$ 、及び 0 ~ 4 0 重量 % 未満の  $\text{P}_2\text{O}_5$ 、を含む組成を有する、複数の第 1 のガラス粒子と、を含み、

前記第 1 の材料は、前記第 1 の成形温度未満の第 1 の分解温度を有する、物品。

【請求項 2】

第 2 の材料からなる第 2 の障壁と、前記第 2 の障壁内の第 2 の内部空間とを含む、第 2 の容器であって、全体が前記第 1 の容器の前記内部空間内にある、第 2 の容器と、

前記第 2 の内部空間内に收容される複数の第 2 のガラス粒子であって、前記複数の第 2 のガラス粒子及び前記複数の第 1 のガラス粒子が、互いに分離されていて、前記複数の第 2 のガラス粒子は第 2 のガラスを含み、かつ第 2 の成形温度で成形可能である、複数の第 2 のガラス粒子と、を更に含む、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

成形可能な物品を作製する方法であって、

第 1 のレセプタクルの中に複数の、第 1 のガラス転移温度及び第 1 の結晶化開始温度を有する第 1 のガラスの粒子を配置する工程であって、前記複数の第 1 のガラスの粒子は第 1 の成形温度で成形可能であり、前記第 1 のガラス転移温度と前記第 1 の結晶化開始温度との間の差異は、少なくとも約  $5^{\circ}\text{K}$  ( - 2 6 8 ) であり、前記第 1 のガラスは、少なくとも 2 つの金属酸化物を含む組成を有する、工程と、

前記第 1 のガラスの粒子から、捕捉された水分を除去する工程と、

第 1 の障壁を含む第 1 の容器を形成するために前記第 1 のレセプタクルを密封する工程であって、前記第 1 の障壁は内部空間を画定し、前記複数の第 1 の微小粒子は、前記内部空間の少なくとも一部を占有し、前記内部空間は、実質的に水を含まず、前記第 1 の障壁は、前記第 1 の成形温度より低い第 1 の分解温度を有する第 1 の材料を含む、工程と、を含む、方法。